

令和3年度 第3回社会教育委員会会議録

開催日時：令和3年10月28日（木）

午後1時30～3時00分

開催場所：恵那市市民会館2階第2会議室

・開会あいさつ

・議題

1. 令和3年度第1回社会教育委員会会議録について
2. 地域学校協働活動の推進について
3. 家庭教育支援計画の進捗状況について

・出席者の数：社会教育委員14人中10人、事務局3人（以下のとおり）

	役職	氏名	選出団体等	出欠
1	委員長	林 達夫	三学のまち推進委員会委員	出席
2	副委員長	磯部 彰	図書館協議会	出席
3	委員	山内 正一	学識経験者	出席
4	委員	山田 恵市	文化振興会	出席
5	委員	相原 正文	恵那市青少年育成市民会議	欠席
6	委員	森川 伸江	保育士・幼稚園教諭経験者	出席
7	委員	柘植 俊夫	民生委員児童委員協議会	出席
8	委員	柘植 弘成	壮健クラブ連合会	出席
9	委員	松村 通男	NPO まちづくり団体	欠席
10	委員	田口 容子	放課後子ども教室コーディネーター	出席
11	委員	各務 周和子	保育士・幼稚園教諭経験者	出席
12	委員	伊藤 幸正	恵那ライオンズクラブ	欠席
13	委員	阪上 美代子	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	出席
14	委員	石山 文香	校長会代表	欠席

事務局

1	教育長	大畑 雅幸	恵那市教育委員会	欠席
2	課長	鷹見 健司	生涯学習課	出席
3	課長補佐兼係長	新村 宏一	〃	出席
4	主査	今井 ちえこ	〃	欠席
5	社会教育指導員	遠藤 滋	〃	出席

6	社会教育指導員	太田 礼子	〃	欠席
---	---------	-------	---	----

・開会（事務局）

定刻になりましたので、これより令和3年度第3回目の委員会を開会します。私は、本日の進行を務めます生涯学習課の新村です。それでは、最初に資料の確認をさせていただきます。両面刷りの会議次第が1部、ホッチキス止めの資料が3部、カラー刷りの市P連だよりが1部、令和3年度岐阜県社会教育委員名簿が1部、ご用意しております。不足の方がお見えでしたら申し出て下さい。

新型コロナウイルス感染症対策として、「検温」及び「手指消毒」、「マスクの着用」にご協力いただきありがとうございます。会議時間は90分以内を目安に行いたいと思います、皆さまのご協力をお願いします。

それでは、事務局を代表しまして生涯学習課長よりご挨拶を申し上げます。

・あいさつ（生涯学習課長）

大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。コロナ禍において、会議を開催するのにあたって、何かと制約がある中で、Zoomなどを活用した会議も随所で行われているところではありますが、社会教育委員の皆さんとこういった形で一堂に会して会議を行える状況となったことは非常にありがたいと思っています。

本日の議題では、今年度から新たにスタートを切った地域学校協働活動の推進に関して、それぞれの地域に配置した推進員が積極的に取り組みを進めていただいているところですが、岐阜県の中でも事業に取り組んでいる自治体は少数で、恵那市モデルとして地域の特性を活かした取り組みを進められれば良いと感じています。また先の市議会における一般質問において、地域における歴史・文化の伝承に関しては、地域学校協働活動の取り組みが重要であると、児童や生徒が地域の歴史・文化を学び、郷土愛を高めることに繋がるうえでも重要であると、そのように説明させていただきました。先般の総務文教委員会と教育委員との合同研修においても地域学校協働活動が取り上げられ、以前はコミュニティスクールとの違いなどわからない点もあるとの指摘もありましたが、今では活動の重要性が少しずつ認識を持ってもらえるようになったと嬉しく感じたところであり、社会教育委員会においても、この事業に関して協議をいただき、後押ししていただいているところであり、事業化することができましたので、引き続き委員の皆さまにはご理解とご協力をいただきたいと思います。

（事務局）

鷹見課長ありがとうございました。

続きまして、林達夫委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。

（委員長）

こんにちは、久しぶりに会うような気がします。コロナ禍の影響で変な感覚もありますが、皆さんとこうして顔と顔を向き合わせて、話し合うことで地域の動きが見えてく

るのではないかと感じています。教育委員会も感染対策を徹底しながら、何とか対面での会議ができるように考慮し、現在、東濃の中で新規感染者が一番多くても開催できるように対応してくれることに対して、非常に心強く感じています。市民も協力しながら、コロナだけではなく、インフルエンザにも注意しながら、安定した生活が過ごせるようにしていきたいと思います。この先もウィズコロナで、新たな生活様式で進んでいくことになると思いますので、引き続き行政と市民が一体となってコロナ対策を徹底しながら活動に取り組んでいくことが重要であると認識しています。本日の議題は、今年度の社会教育委員会のテーマである地域学校協働活動事業の進捗状況の説明があると思いますが、委員の皆さんと事業を学んでいながら、地域でどのように活動を進めていくと良いのか、意見交換をしたいと思いますのでよろしくお願いします。

(事務局)

林委員長ありがとうございました。

それではレジメにそって進めさせていただきます。最初に表彰の伝達に移らせていただきます。

去る10月8日に瑞浪市で開催されました第13回岐阜県社会教育推進大会において、岐阜県社会教育委員連絡協議会より柘植弘成さまに永年表彰が、東濃地区社会教育振興協議会より磯部彰さま、山田恵市さま、各務周和子さま、松村通男さま、田口容子さまに永年表彰が授与されました。

表彰の伝達は、大畑教育長が他の公務に出席しているため、鷹見課長より伝達をさせていただきます。コロナ禍でありますので、受賞された方の前で順次、表彰を伝達させていただきます。

[表彰状伝達]

受賞された皆さま、誠におめでとうございます。

それでは早速ですが、議題に入らせていただきます。進行につきましては、規程により林委員長に務めていただきますのでよろしくお願いします。

・議題

1. 令和3年度第1回社会教育委員会会議録について

(委員長)

それでは議案1について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

先ずもって会議録資料の提供が遅れて申し訳ありませんが、別紙のとおり作成しましたので、ご確認をお願いします。この場での確認は難しいと思いますので、ご意見等ありましたら後日ご連絡いただければと思います。

(委員長)

ありがとうございました。意見等あれば事務局までお願いします。

2. 地域学校協働活動の推進について

(委員長)

続きまして、議題2について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

資料の1枚目に関しては、先日教育委員と市議会議員との合同研修会において提供させていただいた地域学校協働活動推進員の委嘱後における「現状と課題」について説明させていただいた資料となります。また併せて、皆さまにも以前配布していますガイドブックも提供し、説明を行いました。

合同研修会において説明したことについて、要点のみ説明させていただきます。

国の説明では、全市的に地域学校協働活動をどう進めていくべきか、そういったことを話し合う場として運営委員会のようなものを組織化し、進めていくと良いとの意見がありますが、恵那市としては社会教育委員会をそういった役割を担う場として位置付け、今年度も委員会の中で、既に議論を深めていただいているため、今後もその役割を担っていただければと考えています。

推進員に関しては、市内13地域に配置させていただき、その中で大井と武並では推進員の他にコーディネーターが独自に配置され、活動が展開されています。

各地域では、コミュニティセンターの所長と三学塾塾長が事務局的な役割を担ってもらい、各学校に設置された学校運営協議会（コミュニティスクール）と連携を図りながら、活動が進められています。

各地区では、新たな組織を起ち上げ、新たな活動に取り組むのではなく、今ある活動をいかに継続していくのか、そういった視点で取り組みが行われています。とりわけ地域にある財産や資源を活用して、それらを次世代に繋げていくことが重要であると考えています。

各地域の活動状況に関しては、資料にまとめさせていただいたので参考にさせていただき、情報を共有していただければと思います。

最後に11月10日に地域学校協働活動をテーマとした講演会を計画しているので、委員の皆さまにも是非参加いただくようお願い申し上げます。以上で説明を終わらせていただきます。

(委員長)

ありがとうございました。講演会に関しては是非参加いただくようお願いします。

事務局から地域学校協働活動について説明がありましたが、そのことについて、あるいはそれ以外でも結構ですので、地域のことや委員としての関わり方に関してなど、各委員より意見を伺えればと思います。

(委員)

大井地域の活動本部の役員として関わらせていただいています。大井地域では現在、ボッチャを推進していますが、ボッチャをやるには体育館にラインを引く必要があり、毎回やるのが面倒だったため、ブルーシートにコートを作成する取り組みを実施しまし

た。学校にも広めていますが、ボッチャの指導員は地域の方が講習を受け、指導員となり、複数の方が指導員の役割を担っています。

(委員長)

今後、いかに実践して継続していくか、その辺が大事になると思います。

(委員)

中野方地域では、推進員の方が中心となり、活動を展開していただいています。元々取り組みを推進するリーダーの方が存在している地域柄なので活動自体は推進されています。

(委員長)

中野方地域は、地域の方がとても協力的であるので非常に心強いと思います。

(委員)

以前、参加させていただいた地域学校協働活動の研修会の中で、今やっていることを継続していけば良いということが理解できました。必ずしも新しいことをやらなければならない訳ではないので、自分の孫が参加している子どもフェスタのようなイベントも継続していけると良いと感じました。子どもたちに勉強だけではなく、科学的な視点での学びの場を提供できることは非常に良いことだと思っています。

(事務局)

子どもフェスタでは、中学生にボランティアで関わっていただいています。そういった姿を見せることで、それがモデルとなって憧れに繋がる、そんな取り組みであると感じています。先日、恵那西中の子どもが科学の全国大会に出るといった記事がありましたが、こういった子どもフェスタの取り組みなども少なからず影響が出ていると思われれます。

(委員長)

中学生ボランティアの姿は、まさに三学の最終の姿、学んだことを活かすことに繋がっていると思います。教えることの楽しさ、充実感にも繋がっている非常に大事な取り組みであると思いました。

(委員)

先ほどもありましたが、大井地域では自治連合会でボッチャの道具を購入したと聞きました。コロナ禍において運動会が中止となる中、レクスポや軽スポーツが行われ、その中でボッチャも行われたようです。小さなお子さんから高齢者まで幅広く行える競技なので、スポーツ推進員の立場としても関わっていきたいと考えています。

(委員長)

立場が違えども、地域の子どもの育てる同じ立場として、地域学校協働活動に関わっていただければと思います。

(委員)

民生委員としては、あまり学校との関りというか接点は少ないですが、孫がいるので学校の情報はそれなりに入ってきています。中野方地域では、子どもたちが棚田での稲

作体験、先日は全国植樹祭で発表するなど活躍している姿を目にしています。

(委員)

子どもに対する教育も大事ですが、日本古来の食文化を伝えていくことも非常に大事であると認識しています。郷土料理である「五平もち」に関していえば、地域によって握り方が違ったり、タレが違ったりします。実際に子どもたちが作って、食べさせる活動が必要であると感じています。五平もちの名前の由来が島崎藤村であること、餅は高価なものであり、神様にお供えするものであること、そういったことも伝えていくことが大事であると思います。

もう1点、壮健クラブの代表として、何か学びに繋がることに取り組みたいと考え、講師を招いて遺言の作り方に関する勉強会を開催しました。なかなか難しい内容でありましたが、こういったことも大事であると感じました。

(委員長)

五平もちは、この地域において大事な食文化であり、木曾川を挟んで作り方も違ったりするので、地域ごとに伝承していく取り組みが進められると良いと思います。

(委員)

コミュニティスクールと地域学校協働活動本部が一体となって進んでいける体制ができたことは良かったと感じています。地域の方が、学校に関われる仕組みがより活発になればもっと良くなると思います。

今、明智の方で関りを持っていますが、明智地域はうまく纏めていると資料などを見て感じているところです。

(委員長)

この2、3年はとにかく実践して、やってみることが大事であると思います。その中で成果や課題が見えてくると思うので、それぞれの地域で今後も取り組みを進めていただければ良いと思います。

(委員)

4年間、地域で関わってきて感じたことを話させていただきます。

一つ目として、恵那市では根底にあるのが地域自治区であって、そこが中心となり様々な活動が進められており、組織化されていると思っています。ただ、よく課題として取り上げられるように、人手不足が問題となり、次の世代、三代目がいないことが非常に問題であると感じています。そういった中で推進員は自治区の協議会などの会議にでていないと、地域の全体像が見えてこないのも、そういった行動が大事であると思います。

二つ目として、コロナ禍での取り組みにおいて良かったことを話します。今までの地域の文化祭では、子どもの作品を展示するだけの取り組みでありましたが、今回から作品に順位をつけ表彰することになり、ある意味、質の向上に繋がったのではないかと思います。もう一つは、緊急事態宣言が出る前の夏に実施した小中学生を対象とした望郷の森キャンプ場でのサマーキャンプに関して、まずは中学生が小学生に教えるため

に事前キャンプを行い、本番を迎えることとしましたが、コロナ禍における開催にあたり誰が責任をとるのか、そういった議論もありました。地域の65歳以上の高齢男女が中心となり、キャンプ場管理者を支えながら、何とか開催することができました。65歳以上の高齢男女だけで感染対策などサポートしながら実際にやる事は大変であり、その辺のことも認識していただくことも大事であると感じました。

最後に教育に関わる家庭内の活動、学校内の学習以外の活動、学校外の郊外活動に関して、子どもたちは一連で活動していますが、何かあった時の保険の関係など、活動をサポートする関係者がわかるガイドラインのようなものが今後必要になってくるのではないかと、その辺りが課題になってくるのではないかと感じています。

(委員長)

貴重な意見をありがとうございました。望郷の森でのイベントは非常に良いことなので、来年は笠周地域で連携してできると良いと思いました。

(委員)

飯地キャンプ場でも子供向けのイベントが開催されていますが、サポートする人員の確保が難しいといった話も耳に入ってきますので、笠周地域で実施するのであれば、恵那北中を中心にやり方を整理する必要もあると感じています。

(事務局)

地域学校協働活動の取り組みの中でも、恵那北中の生徒が関わることも実施されていますので、これからは各地区の本部が連携して、推進員が中心となって進めていく体制が構築できると良いと思います。

(委員)

地域の取り組みがわからず、その活動を知る方法もない中で、こういった資料を提供いただくと地域の取り組みがわかりありがたいと思います。より多くの方に地域の取り組みが周知できると、関わっていただける住民も増えてくると思われるので、そういった仕組み作りも大事であると認識しています。声を掛ければやりたいと思う人が大勢いると思います。十数年前に、市から地域にまちづくりの活動補助金が配分され、その頃は地域でも色んな取り組みが進められ、私も図書館サポーターとして、読み聞かせや紙芝居などで関わり、串原、上矢作、岩村、東野と各地域からの要請を受け、出向いて行ったこともあります。声を掛ければ、多方面で協力してもらえと思うので、周知していくことが大事であると思います。

(事務局)

大井町かわらばんといった広報誌などで地域学校協働活動などの取り組みも紹介されていくと思われるので、気に留めていただくと情報が入ってくると思います。

(委員長)

副委員長は読み聞かせで、他の委員は、それぞれ得意分野があると思いますので、是非地域に入ってきていただき、サポートしていただけるとありがたいと思います。

また社会教育委員の皆さんには、地域の学校協働活動の本部の一員として参加してい

いただき、密接に関わっていただくことをお願いして、この議題については終了とします。

3. 家庭教育支援計画の進捗状況について

(委員長)

続きまして、議題3について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

6月の第1回委員会において提供しました「第5期恵那市家庭教育支援計画」については、その際にご説明しておりますが、その中で今後5年間の活動に関して、事業一覧で進捗管理をしていくことを説明させていただいております。

今年度も新型コロナウイルスの影響により、位置付けられた事業が思うように推進できていない状況ではありますが、感染対策を取りながら進めている事業もありますので、令和3年度の実績に入力したうえで、委員の皆さまにご報告できればと思います。

またレジメの裏面に委員名簿を掲載してありますが、その中で事務局の体制に変更がありましたので紹介させていただきます。令和3年10月1日から家庭教育学級の総括コーディネーターとして、太田礼子指導員が会計年度任用職員として配属されました。本日は所用により欠席しておりますが、またの機会に紹介させていただき、太田指導員が中心となって、乳幼児期の家庭教育学級や新たな取り組みを進めていきますのでよろしくをお願いします。

以上で説明を終わらせていただきます。

(委員長)

このことについて質問などありましたらお願いします。

私から、目標指標の設定について今一度説明していただけますか。

(事務局)

計画策定の際、林委員長より意見がありましたが、なるべく数値でわかるような設定を念頭に、指標の設定を進めましたが、事業によってはなかなか数値で表せないものがありますので、今後実績の入力にあわせて、その辺りも検討していきたいと考えています。

(委員長)

次期計画に繋げられるような取りまとめをお願いしたいと思います。

(事務局)

貴重なご意見をありがとうございました。いただいた意見を今後反映できるように進めていきたいと考えております。

その他としまして、資料としてお配りしました「岐阜県社会教育委員名簿」「市P連だより」に関してはご一読いただければと思います。特に市P連だよりでは、各学校の取り組みが紹介されていますので情報共有のため、ご確認ください。最後に11月7日に開催されます「初風緑コンサート」をご案内しますので是非ご参加ください。

以上をもちまして、今回の委員会を終了させていただきます。

閉会のあいさつを磯部副委員長にお願いします。

(副委員長)

本日も慎重審議いただきありがとうございます。また地域学校協働活動では、わかりやすい資料を提供いただきありがとうございました。地域での取り組みが良くわかりましたが、今後、私たち社会教育委員がどういった形で関りをもっていくのか検討していきたいと思います。本日は誠に疲れ様でした。

令和3年10月28日(木)

社会教育委員会委員長 林 達夫

社会教育委員会副委員長 磯部 彰